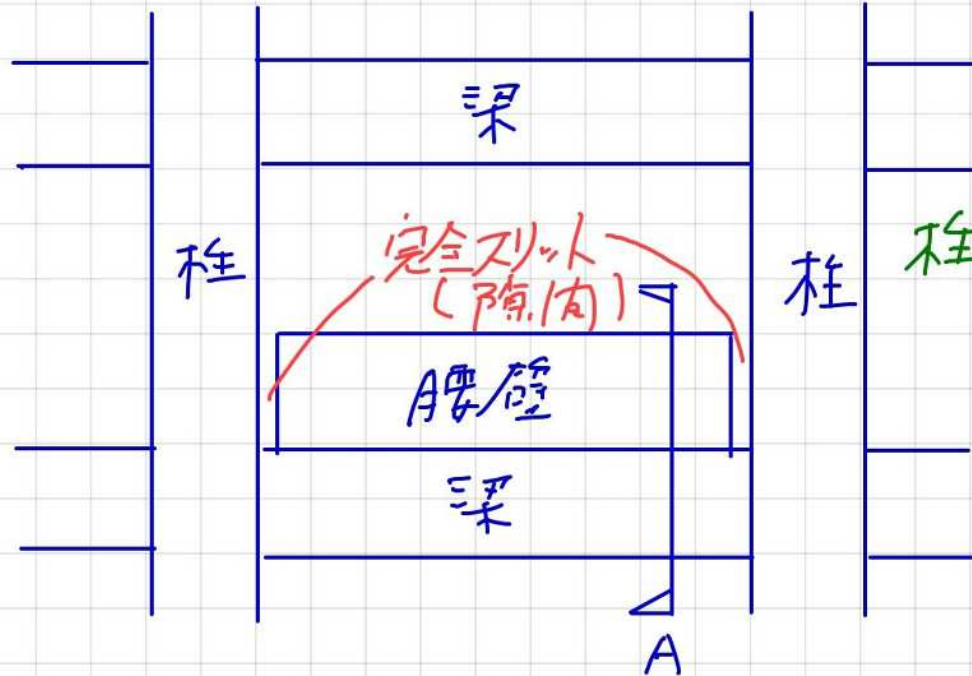
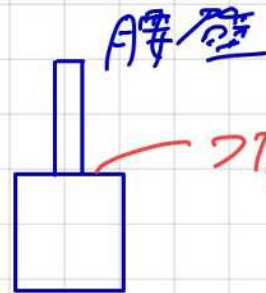


No.1 腰壁の付いた梁の剛性



柱が短柱になるのを避ける
→せん断破壊域にする



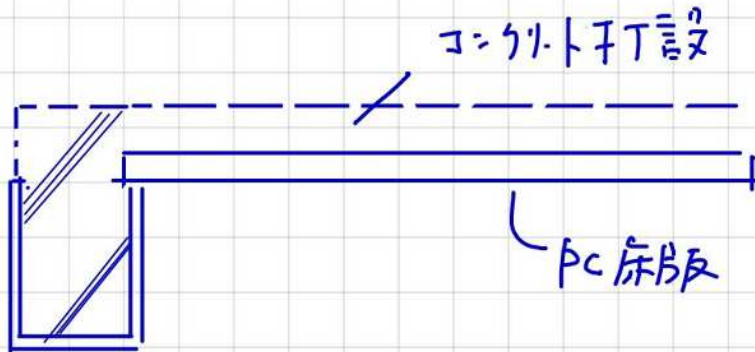
つなごうでいる → 梁の剛性にも影響する

A断面

№2. 構造設計における地球環境の配慮

- 木質構造の採用 →
- 材料製造時の炭素放出量が鉄やセメントと比べると少ない
 - 樹木の成長過程において多くの二酸化炭素を吸収し、木材になってからも炭素を固定し続ける

- ハーフPC床版の利用 →
- 床コンクリート打設時の合板型枠が不要
↓
通常数回使用できる後に廃棄しない



№3. 補強コンクリートブロック塀

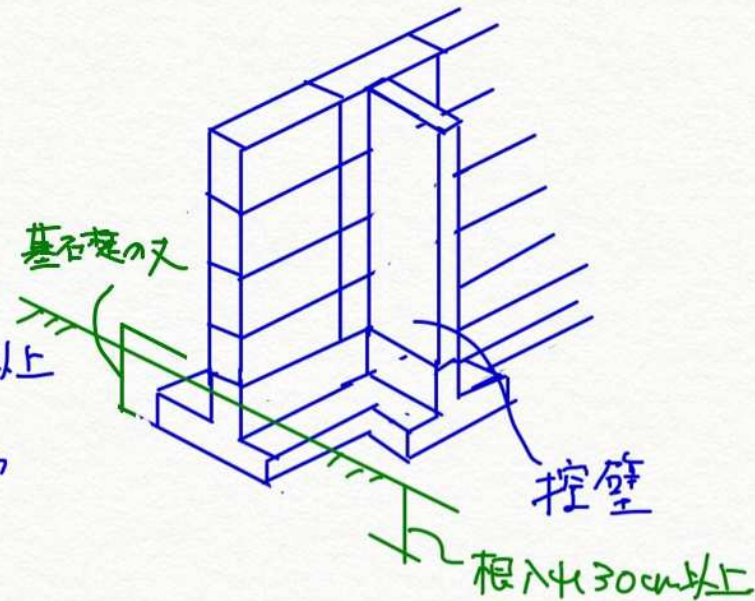
合62条の8

- 一 高さ 2.2m 以下
- 二 壁の厚さ 15cm 以上
- 三) 横筋、縦筋
- 四)
- 五 長さ 3.4m 以下ごとに控壁を設ける
- 六 鉄筋の末節、定着
- 七 基礎の又は 35cm 以上、根入れ深さ 30cm 以上

号示 1355 補強コンクリートブロック造の塀の地震力
号示 1449 煙突の地震力

$$\text{せん断力 } Csi \geq 0.3E(1 - \frac{h_i}{h})$$

高さ 1.2m 以下の塀については 五号、七号は除かれる



No4. 特定天井

特定天井 39条3項 → 告示171号

- 一. 人が日常に入居する場所に設けらるもの
- 二. 高さ6mを超える天井, 水平投影面積 200m^2 超
- 三. 単位面積質量が $2\text{kg}/\text{m}^2$ を超える

中地震において天井が損傷したことを検証

